

平成 28 年度「第 1 回仕事とライフイベントの両立セミナー（学内限定）」

（第 1 回仕事と介護の両立ワークショップ）開催報告

1 人ひとりが貴重な人財！離職しない・させないために

～長崎大学の規程を学び、仕事とライフイベントの両立を図る～

【日時】平成 28 年 7 月 13 日（水）14：30～16：00

【場所】長崎大学文教キャンパス事務局第 5 会議室

【日時】平成 28 年 7 月 14 日（木）16：00～17：30

【場所】長崎大学坂本キャンパス良順会館専斎ホール

【講師】

伊東 昌子 氏（長崎大学副学長/ダイバーシティ推進センター長）

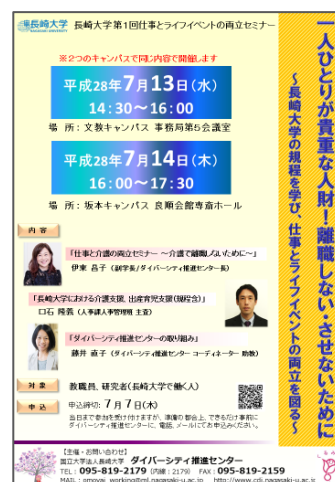
「仕事と介護の両立セミナー ～介護で離職しないために～」

口石 隆義 氏（人事課人事管理班 主査）

「長崎大学における介護・育児の支援制度」

藤井 直子 氏（ダイバーシティ推進センターコーディネーター 助教）

「仕事とライフイベントの両立に向けた取り組み」



平成 28 年 7 月 13 日（水）文教キャンパス事務局第 5 会議室にて、平成 28 年 7 月 14 日（木）坂本キャンパス良順会館専斎ホールにて「第 1 回仕事とライフイベントの両立セミナー」を開催いたしました。2 日間合わせて、学内から延べ 49 名の教職員の参加がありました。

1. 講演（副学長/ダイバーシティ推進センター長 伊東昌子 氏）

講演の最初に、伊東センター長より挨拶がありました。挨拶の中で、平成 27 年 9 月に男女共同参画推進センターからダイバーシティ推進センターに改称し、学内で働く全ての人々が、それぞれの力を尊重し能力を伸ばしていくこと、また、働きがいや働きやすさを感じることのできる職場としていくことを目指していると述べました。その後「介護で離職しないために 仕事と介護の両立セミナー」と題し、仕事と介護の両立に向けて、①事前の心構えの重要性②ひとりで抱え込まない③働き方の見直しも重要であること、介護で離職しないために今から心がけてほしいこととお話いただきました。

2. 講演（人事課人事管理班 主査 口石 隆義 氏）

本学人事課人事管理班口石主査より、「長崎大学における介護・育児の支援制度」と題し、本学における介護支援制度と育児支援制度について、勤務時間関係、休暇・休業制度等、規

程の内容を例を交えながらわかりやすく説明してくださいました。



写真 1. 伊東センター長



写真 2. 口石主査

3. 講演（ダイバーシティ推進センター コーディネーター 助教 藤井 直子 氏）

ダイバーシティ推進センターコーディネーター藤井先生より、「仕事とライフイベントの両立に向けた取り組み」と題し、ダイバーシティ推進センターの活動について、仕事（研究）と介護の両立支援、仕事（研究）と育児の両立支援、英語校閲支援プログラム、テクニカルスタッフ雇用制度、リスタートアップ研究費制度、相談窓口やおもやいキャンパスサポート、おもやいキッズについて等説明してくださいました。



写真 3. 藤井助教



写真 4. セミナー風景

4. 参加者の声（アンケート結果）

- ・今後のライフイベントにおいて、どのような規程があるのかを知ることができて、少し不安が軽減しました。
- ・普段の業務中には触れることの無い内容ですので、このような機会は必要だと思いました。
- ・職場内で育児休業取得中の職員がいるので、得た情報を提供できる。
- ・実際に出産・介護に直面する時でないと、考える事が出来なかったり、語られている事の

内容の理解が乏しいのが現状です。

- ・当事者ばかりで無く、周りの者も理解を深め職場環境を良くしてゆくことが大切だと感じました。
- ・おもいやあじさいの様な設備が小規模でも、短期間でも、坂本キャンパスにあれば助かるのではないかと思います。ご検討下さい。
- ・残業や有給取得と介護に直面した時の就労継続の有無の関係性が興味深く、介護と仕事を両立するために働き方を見直し、変えていくことはとても重要だと思った。管理職世代の方が介護者になる可能性が高いため、トップから意識を変えていく必要があると思う。
- ・学内規程を知ることは、そこで働き貢献し続けられる人材となるためには非常に重要だと思います。勤務時間内にこのようなセミナーに行くことを当然のこととする職場環境が求められていると思います。

他にも多くの気づきや学び、ご意見をいただきました。アンケートへご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

第1回仕事とライフイベントの両立セミナーには、多くのみなさまにご参加いただきました。センタースタッフ一同、心よりお礼申し上げます。参加理由に、「職場で介護のために休暇を取る人が増えてきたから」「人事担当者として知っておきたかった」との声がありました。今後ますます介護の課題を抱える人が増加することが確実視されているなか、介護者が孤立することなく介護者も要介護者も共に社会参加ができる環境作りができるよう、長崎大学ダイバーシティ推進センターは、今後も引続き、仕事（研究）とライフイベントの両立に向けて、また、働きやすい職場環境となるよう取り組んでまいります。